

1	審議会名	市民による事業評価（高齢者施策）
2	日 時	平成25年2月12日 午後3時00分から午後4時00分まで
3	会 場	市役所 本庁舎5階 第1・2委員会室
4	出席者	井上妙子委員、圓増治之委員、大谷直史委員、神尾みち子委員 柴崎琢磨委員、杉崎千代委員、中山昭雄委員、堀内吉孝委員 山浦健太郎委員、山田 豊委員
5	市側出席者	徳永高齢者介護課長、小川高齢者支援担当係長、村山高齢者支援担当係長 桜井介護保険担当係長、長田介護保険担当係長、川俣行政改革推進室主査
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	0人 記者 1人
8	会議概要作成年月日	平成25年2月15日

協 議 事 項 等

- 1 開 会
- 2 自己紹介
- 3 チームリーダー（以下「TL」）、副チームリーダー（以下「STL」）の選出
TLに、山浦健太郎委員
STLに、大谷直史委員 が選出される。
- 4 議 事
 - (1) 事業概要の説明
 - ・資料「テーマ別事業概要書」に沿い、徳永高齢者介護課長から事業概要を説明
 - ・以降、質疑
 - (委員) 市内で把握している認知症の方の人数はどれくらいか。
 - (事務局) H23年度末現在で4,604人である。
 - (委員) これは要介護もしくは要支援認定を受けている人なのか。
 - (事務局) 国で「日常生活自立度判定基準」を示しており、IIa以上だとなんらかの認知症があると判定される。よって、介護認定の有無とは必ずしも一致しない。
 - (委員) そうすると概数ではないか。軽度も含めると実際はもっと多いのではないか。
 - (事務局) 軽度を含めた要介護認定者総数では7,692人であり、その中で介護認定を受けている重度の人が4,604人である。
 - (委員) 評価対象事業として7つあがっているが、いつからどのように始められたか経緯が書かれていない。審議するうえでその辺の資料も欲しい。
 - (事務局) 次回から具体的な審議に入るので、その時に提示したい。
 - (委員) 資料にある要介護認定者数と、「第5期上田市高齢者福祉総合計画」にあるその数値が異なるがどうしてか。
 - (事務局) 資料にある人数は、65歳以上の第1号被保険者だけでなく、40歳から64歳で認定を受けた第2号被保険者を含めた数値のため異なっている。
これに関連して、参考資料3ページの第3図及び第4図の「1号被保険者含む」を「2号被保険者含む」に訂正願いたい。
 - (委員) 高齢者施策の事業費は、すべて民生費から支出されているのか。
 - (事務局) 資料にあるとおり、①一般会計の民生費のうち、「老人福祉費」と、②「介護保険事業特別会計」からの支出となる。
 - (委員) 民生児童委員の人数は、人口割で定められているのか。
 - (事務局) 福祉課が所管だが人口に応じて定められていると思う。次回、確認のうえ示したい。
 - (委員) 上田市の場合、民生児童委員1人あたり500人を担当すると聞いたことがある。私は5年間、在宅介護をしていたが、その間一度も来訪してもらえなかった。どういう基準で

回っているのか。

(委員) 地域の掘り起こしであったり、前任からの引き継ぎを含めてサポートするが、民生児童委員1人の力では難しい面もある。

(委員) 評価対象事業7つの選考理由を教えてください。

(事務局) 次回、お示ししたい。

(T L) 時間の都合で本日はここまでとしたい。資料については次回までに目を通し、問い合わせ等あれば事務局まで連絡をしてほしい。

(2) 次回の開催日程について

- ・第2回 平成25年4月12日(金)午後1時30分から

5 その他

- ・特になし

6 閉 会